

カラー大会報道 LIONカップ第23回ジャパントップ12大会 .....[10]

カラー新入生企画 国際卓球 法政大 所沢高 .....[12]

カラー大会報道 第71回東京選手権大会（カデット・ジュニアの部） .....[16]

カラートビックス  
2019年世界選手権ハンガリー大会 日本代表Nittaku契約選手紹介 .....[18]

大会報道 第71回東京選手権大会（カデット・ジュニアの部） .....[26]

日本の肖像 高岡本所(株式会社エアウィーヴ代表取締役会長兼社長) .....[30]

練習のヒント 織部幸治(IT'S二重代表) .....[32]

トレーニングFF 田中礼人(男子NT専任コーチ) .....[34]

ラージボールダブルス講座  
藤本武司(東京堂業部)・内田康彰(大阪堂業所) .....[36]

カラートビックス  
2019年世界選手権ハンガリー大会 日本代表紹介 .....[57]

カラー大会報道 Tリーグプレーオフファイナル .....[58]

カラートビックス 2019年春新製品発表会 .....[62]

カラーインタビュー 小島美穂子(日立大沼卓球) .....[70]

カラー連載「カットへの扉」 石垣優香(日本生命) .....[72]

チャンピオンズテクニック  
池田昌通(平成30年度全日本ラージボール選手権大会男子準優勝) .....[74]

Nittaku社員エピソード 村上知寛(東京本社) .....[76]

ラージボールを受取る人たち 金子良之・知代子(栃木県) .....[82]

第5チャンネル .....[40]

ピンポン東西南北 .....[41]

各地レポート .....[44]

ラージ大会 .....[53]

みんなのコーナー .....[56]

編集室 .....[58]

### Message

人が環境を作るのか、環境が人を作るのか、と考えさせられることがあります。結論に至ることはないのですが...

どんなに才能がある選手であっても、だらけてしまえばその才能を活かすことはできず、少しの才能を持つ選手でも、毎日コツコツと目標に向かっていけば、最終的には才能がある選手を越すことができるのでは、と思います。

結局のところ、一番良いものを吸収し、それを成果に結びつけることが、大切だと思います。

サッカーのヴィッセル神戸の監督を務めるファン・マヌエル・リージョス

人がインタビューで「外国から来た私は一方的に命令するのではなく、日本のやり方を尊重し私から歩みよっていく必要があった。教えるという言葉は好きではなく、教えるのではなく学んで貰う。練習をする手助けはできるけど、練習をするのは本人。人はすでに知っていることのみを学ぶ。監督は選手の中にあるものを発見させ、成長させる職業」と答えています。

人から言われて行動することは簡単ですが、自ら考えて行動することは勇氣がいる。自ら考えて、行動するからこそ、ほんとうの力が付くのではないのでしょうか。 (混)



表紙  
LIONカップ第23回ジャパントップ12大会(第2019年世界選手権日本代表選考会)女子シングルス優勝の石川佳純(全盛)  
撮影: 奥 哲也